

平成30年名古屋港の港勢

平成30年（2018年）の名古屋港の港勢は、入港船舶隻数、船舶総トン数ともに前年実績を上回り、総取扱貨物量も前年実績を上回りました。

1 入港船舶

入港隻数は33,404隻（前年比1.4%増）、総トン数は2億3,761万トン（同3.4%増）とともに前年実績を上回りました。

○ 外航船舶

入港隻数は8,008隻（同2.3%増）、総トン数は1億9,781万トン（同3.4%増）とともに前年実績を上回りました。全体の5割以上を占めるコンテナ船においても、入港隻数は4,133隻（同3.6%増）、総トン数は8,965万トン（同1.7%増）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

○ 内航船舶

入港隻数は、25,396隻（同1.1%増）、総トン数が3,980万トン（同3.1%増）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

2 海上出入貨物

平成30年の総取扱貨物量は、1億9,659万トン（前年比0.3%増）と前年実績を上回り、平成14年から17年連続で全国1位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貨物取扱量については、1億2,965万トン（同1.4%増）と前年実績を上回り、平成12年から19年連続で全国1位になりました。

○ 外貨物

輸出貨物量は、5,371万トン（同2.0%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種が上がり、特に完成自動車、自動車部品の上位2品種で輸出全体の7割近くを占めています。国・地域別では1位中国678万トン、2位アメリカ438万トン、3位アラブ首長国416万トン、4位タイ258万トン、5位オーストラリア237万トンです。

輸入貨物量は、7,594万トン（同0.9%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種には、LNG（液化天然ガス）、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源が上がり、輸入全体の5割以上を占めています。国・地域別では、1位オーストラリア1,433万トン、2位中国1,357万トン、3位カタール703万トン、4位アメリカ528万トン、5位マレーシア381万トンです。

○ 内貿貨物

移出貨物量は、3,514 万トン（前年比 2.3%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、鉄鋼、揮発油、その他の石油、鋼材が占めました。移入貨物量は、3,180 万トン（同 0.9%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、鋼材、化学薬品、揮発油、セメントが占めました。

○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,951 万トン（同 1.5%増）、コンテナ個数は 270 万 TEU（同 4.3%増）とともに前年実績を上回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,484 万トン（同 1.2%増）、輸入は 2,468 万トン（同 1.8%増）とともに前年実績を上回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、産業機械、完成自動車、その他化学工業品、ゴム製品が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、輸送用容器、電気機械、その他化学工業品が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は、1 位中国 576 万トン、2 位アメリカ 316 万トン、3 位タイ 191 万トン、4 位南アフリカ 95 万トン、5 位オランダ 92 万トンです。輸入は、1 位中国 1,064 万トン、2 位台湾 151 万トン、3 位ベトナム 142 万トン、4 位アメリカ 142 万トン、5 位タイ 141 万トンです。